

## はじめにお読みください

このたびは、リーマン・チャイルド&ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。また、取り付け後も大切に保管し、必要に応じてお読みください。

## 取扱説明書 保証書付

年少者用補助乗車装置 Group 0,1,II

## 商品名 カイナ

型式:1029A

### 注意

●本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則No.44の04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。

●車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると明記されていれば、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。

●本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された3点式 / 巻取り装置なし / 巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。

●本年年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。

●疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーか販売店にご相談ください。

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、かならず守ってください。

**△警告** 記載内容を守らないと生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

**△注意** 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

**⊘** 図示されている内容の禁止を示しています。

**Check** 安全のため、必ず確認していただきたいこと。

**Ⓜ** より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。

●この取扱説明書は、お読みになった後も大切に保管し（本体側面の収納ポケット）、必要に応じてお読みください。

## 2.お子さまの適用条件

**△警告** お子さまの体重が9kgを超えるまでは、前向きで使用しないでください。

体重 身長のためやす 年齢のためやす	チャイルドモード		ハイバックモード
	～10kg未満 ～75cmまで 新生児～12ヶ月頃まで	9kg～18kg以下 70cm～100cmまで 12ヶ月頃～4才頃まで	15kg～25kg以下 98cm～120cmまで 3才頃～7才頃まで
取付方向	後向き	前向き	前向き
取付具	インナークッション	～10kg未満 10kg～	
	肩パッド		
その他	お子さまを座せるとき、後頭部がヘッドレストの上から出ないこと。		

## 3.取り付けできない座席

**△警告** 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。

**△注意** 助手席には取り付けしないでください。



- 3点式シートベルトで上下取り付け部が共に巻取り式の座席。
- パッシブシートベルト（座席に座るとドアの開閉によって、自動的に脱着されるタイプのシートベルト）のいた座席。
- 車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。（衝突の際にショックを吸収できません）
- 座端なバケットタイプなどの座席。（取り付けた本製品が安定しません）
- 本製品を取り付けた際に、運転に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。（万の一のとき乗員の安全が確保できません）
- その他、本製品を固定できない座席。

## 4.取付可能な車両シートベルト

本装置は認可された車両がUN/ECE規則No.16または同等の基準で認可された3点式・巻取り装置なし・巻取り装置付き安全ベルトを装着している場合のみに使用できます。

●車両には、各種のシートベルトが装着されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。本製品を正しく安全に使用するために、**お着き車両（シートベルト）に合った取り付け方法で装着してください。**

●**車両シートベルトの種類**（○：取り付け可能 ×：取り付け不可 ※：下表参照）

	巻取装置有り				パッシブ	巻取装置無し
	ELR	ALR	NLR	パッシブ		
3点式	肩側	腰側	肩側	腰側		
	○	×	※	※	○	○

	特徴	本装置の取り付け注意点	
		チャイルドモード	ハイバックモード
ELR 緊急ロック式 ベルト巻取装置	ゆっくりと引くと自由に入入り、勢いよく引くとロックします。	○ 取扱説明書通り固定してください。	○ 取扱説明書通り固定してください。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取装置	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に締まり、それ以上伸びなくなります。（シートベルトを全て巻き戻すと解除されます。）	○ 取扱説明書通り固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR機能が切り換えてください。	△ シートベルトを全量引き出すとALR機能が働き危険です。ALR機能を使用しないでください。
ALR 自動ロック式 ベルト巻取装置	ベルトを引き出す途中で手を止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	○ チャイルドシートを固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、固定してください。	× 使用できません。
NLR	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	○ チャイルドシートに合わせシートベルトの長さを調節し、取付けてください。	
パッシブ シートベルト	座席に乗るとドアを開けると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	×	×
その他の シートベルト	表記載されていないものすべて。	×	×

**△警告** 2点式シートベルトには取り付けできません

## 5.必ずお読みください

### 緊急時には…

衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



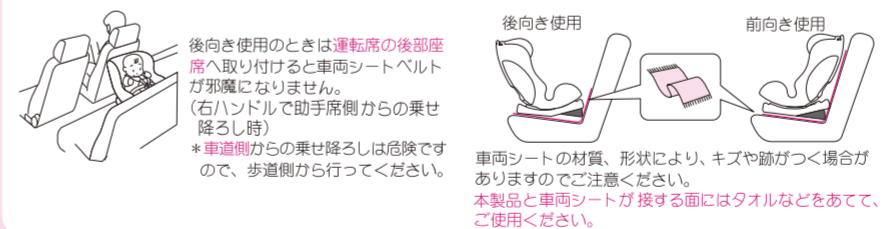
**△警告** \*記載内容を守らないと、生命の危険または、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 本製品は取扱説明書どおりに固定してください。
- お子さまの不特定な行動により、**ベルトが首に巻きつくおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。**
- 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ず**腰ベルトを低く下げて着用**させてください。
- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、**他の座席**に取り付けてください。
- 本製品の**バックルをはずしたままの使用は危険**ですので絶対にしないでください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、**取り付けしないでください。
- お子さまが、**バックルの赤いボタンを押さないよう**に注意してください。ときどき**タンクがバックルからはずれていないことを確認**してください。
- 衝突事故や製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、**外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。**
- 本製品を保管する際には、強い衝撃を与えたり、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。
- お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、**車両シートベルトでしっかりと固定**しておいてください。
- 本製品を改造したり、**カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。**
- シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。**（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。）
- 車の座席にクッションや座布団を敷いたまま、取り付けしないでください。しっかりと固定できません。
- お子さまを車内にひとり放置することは絶対にしないでください。
- 保護者が各部分に触れて、**やけどしないことを確認の上、**お子さまを乗せてください。
- 運転中に本製品の操作（ベルト調節・角度調節などの操作）をしないでください。
- 新生児（生後1ヶ月未満）にお使いいただく場合は、運転者以外に向乗者が乗り、目をささないでください。
- お子さまの負担を考慮し**1時間以上連続して使用しないでください。**
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。**衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。

**△注意** \*記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

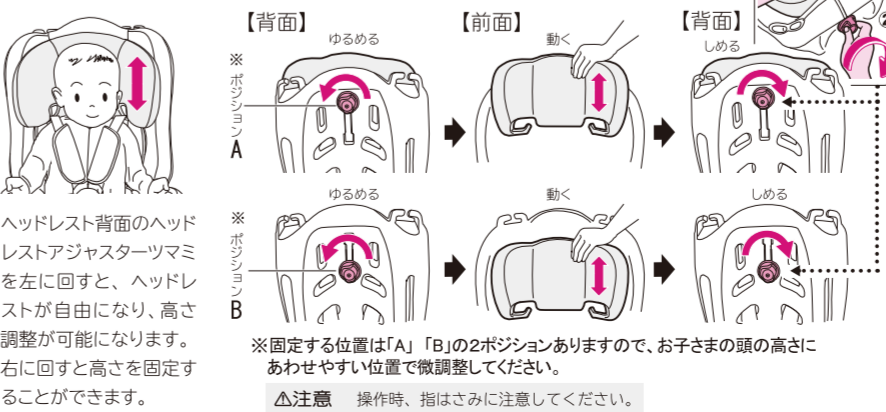
- お子さまを乗せる際には、本製品の取付け状態を再確認し、正しい状態で走行してください。また、走行中や走行後も異常がないことを確認してください。（確認は停車し、安全な状態でおこなってください。）
- 本製品にお子さまを乗せたまま車両への取付け・取りはずしはしないでください。
- お子さまの乗り降りの際など、本製品の端に体重をかけても、転倒してケガなどをされるおそれがあります。
- お子さまが本製品の上で立ち上ったり、中腰になったりしないよう、注意してください。また、お子さまの遊び道具にしないでください。
- 衝突の際、傷害を与える可能性のある荷物などはしっかりと固定しておいてください。
- 可動式シートまたは車両のドアに剛性部分（プラスチック部分等）がはさまれないように本製品を取付けてください。
- 車両シートベルト及び本製品を鋭利なもので傷つけないように注意してください。
- 本製品を車両以外では使用しないでください。
- 本製品を取付ける際は、取付ける車両の取扱説明書をあわせてお読みください。
- お子さまだけで乗り降りすると危険です。乗せ降ろしは必ず保護者の方がおこなってください。

**Ⓜ** アドバイス \*より安全、快適にご使用していただく上で知っておいていただきたいこと。



本製品は、交通事故などの際に、お子さまが受ける衝撃を軽減するための年少者補助乗車装置ですが、必ずしもお子さまを無傷で守ることができるわけではありません。運転には、必ず細心の注意をはらい、事故が発生しないよう心がけてください。

## 6.ヘッドレストの使い方

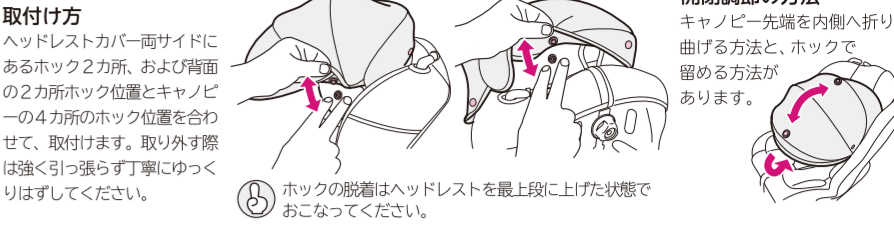


ヘッドレスト背面のヘッドレストアジャスターツマミを左に回すと、ヘッドレストが自由になり、高さ調整が可能になります。右に回すと高さを固定することができます。

**△注意** 操作時、指はさみに注意してください。

## 7.キャノピーの使用法

●キャノピー使用期間：後向き取付け期間【体重10kg未満のお子さま（12ヶ月頃まで）】でご使用いただけます。



**△警告** ●キャノピーは、後向き専用のパーツです。前向きで使用すると衝突時などに本来の性能を発揮できず重大な傷害を負う可能性があります。●キャノピーは、お子さまの体重10kg（12ヶ月頃まで）を超えた場合や、お子さまの手が届いたり身体に触れる場合は、使用しないでください。

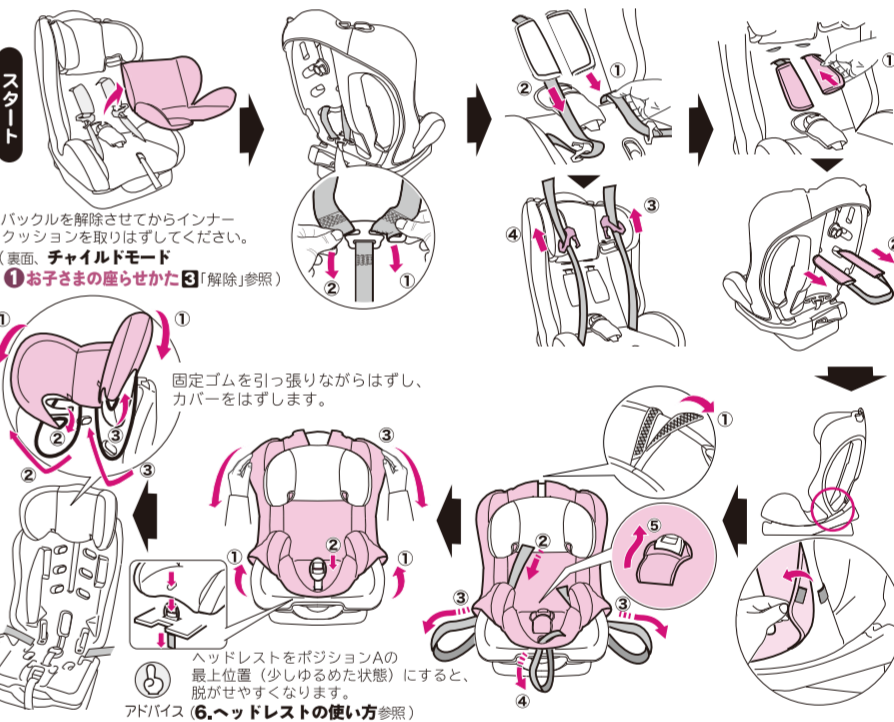
**△警告** ●本製品を持ち運ぶ際は、キャノピー部分を持たないでください。●キャノピーの上部に、ものを載せないでください。●キャノピーに、おもちゃなどを取付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。●キャノピーを洗濯する際、洗濯機は使用しないでください。●キャノピーを取りはずす際は、お子さまの手が届かない場所で保管してください。●芯材が曲がるなどにより変形した場合は、使用しないでください。●破損や破れが生じた場合は、使用しないでください。芯材が露出し危険です。●本製品以外での使用や、本来の目的以外での使用はしないでください。

## 8.お手入れの仕方

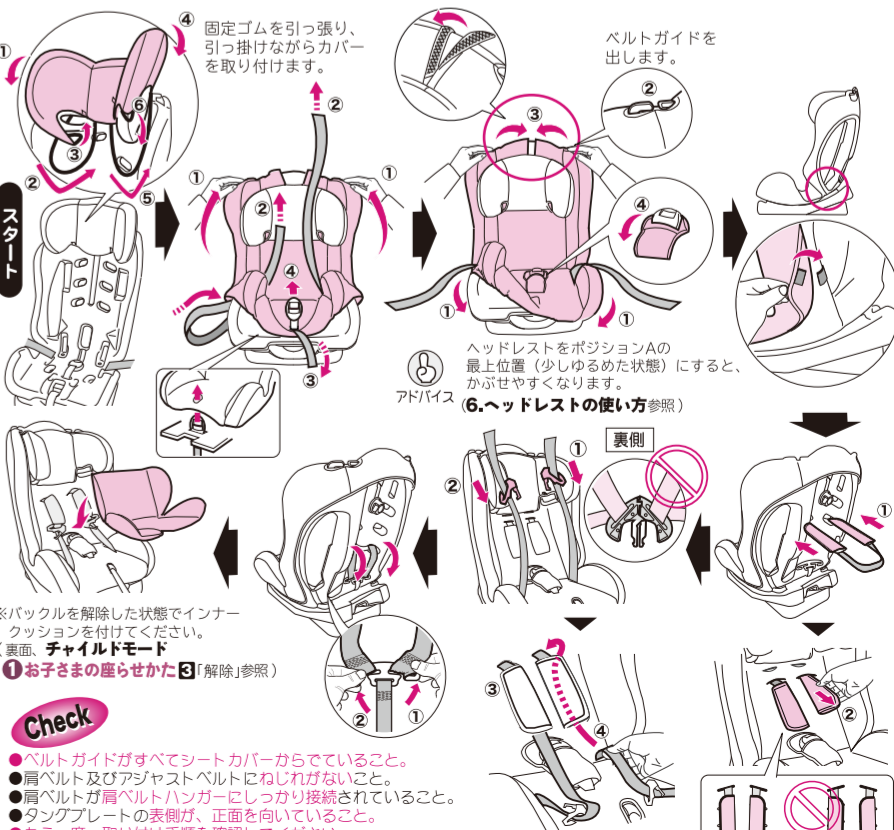
- シートカバーなどの縫製製品の洗い方**
- 中性洗剤を使用して、水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
  - 塩素系漂白剤は使用しないでください。
  - 洗濯後は、脱水機、乾燥機はせず、タオルなどで押し絞り、風通しのよい日干しに干してください。
  - アイロン掛けはしないでください。
  - ドライクリーニングはしないでください。
- 日常のお手入れ方法**
- 取りはずしできるクッション類は取りはずしてから洗濯してください。（一部例外によっては無しの場合があります。）
  - 樹脂部やクッション類は水で濡らして固く絞ったタオルや乾いたタオルなどで拭いてください。
  - 掃除機などで、ほこりやゴミを取ってください。
  - 飲み物など、しみの残りやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
  - 部品のお取り寄せは、型式と品番を確認の上、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

**△警告** 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。本体、表面の生地、ベルト類をいためるおそれがあり危険です。

**シートカバーの取りはずし方** **△警告** カバー類は必ず取り付けて使用してください。



**シートカバーの取り付け方** **△警告** 専用カバー以外は使用しないでください。



- Check**
- ベルトガイドすべてシートカバーからでていること。
  - 肩ベルト及びアジャスターベルトにひじが当たらないこと。
  - 肩ベルトが肩ベルトハンガーにしっかりと接続されていること。
  - タンクプレートの表側が、正面を向いていること。
  - もう一度、取り付け手順を確認してください。

# 操作方法

△警告 操作は、かならず停車中におこなってください。

詳しい取り付け方を動画で確認できます ▶▶



## チャイルドモード

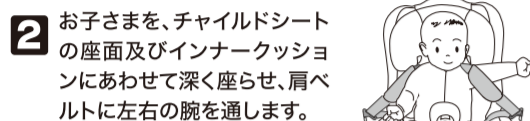
### 1 車に取り付ける前に

#### お子さまの座らせ方

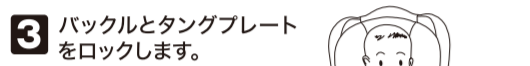
- △警告 お子さまの着座のたびに、かならずアジャスターベルトを引いてお子さまを拘束してください。
- △警告 バックル部分は荷物がかさまり取り物がかかるとロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。
- △警告 腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるよう必ず腰ベルトを低く下げて着用してください。



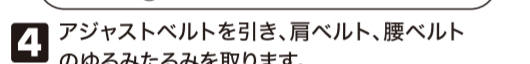
- お子さまのいたずら防止のため、アジャスターボタンは見えにくい場所にあります。
- アジャスターボタンは、奥側を確実に押してください。



- △警告 かさばる衣服を着せたまま、乗せしないでください。

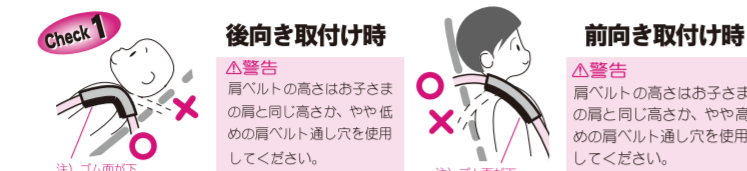


- △保護者が各部分に触れて、やけどをしないことを確認してください。



#### 肩ベルト高さ確認

◎お子さまを座らせ肩ベルトの高さを決めます。

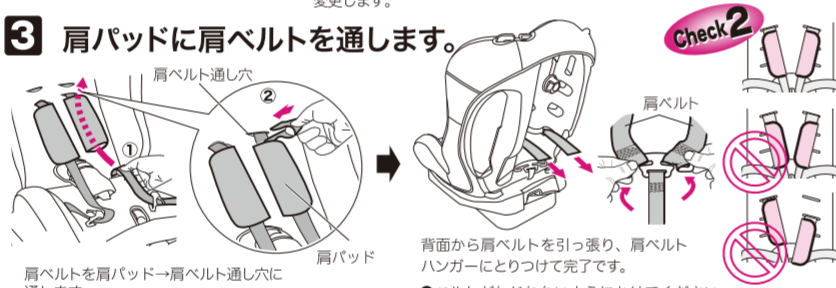
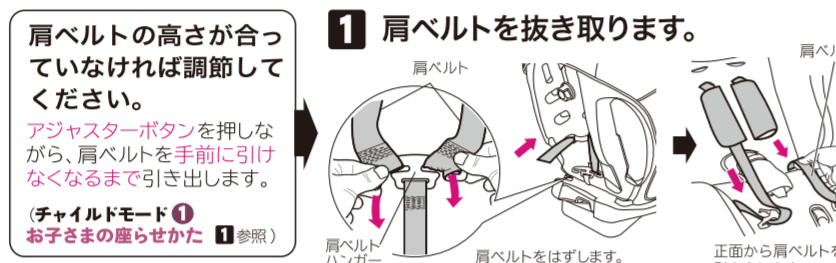


肩ベルトの高さがお子さまの肩より低すぎたり高すぎたりしないことを確認してください。

- △注意 かならず肩ベルトを左右同じ高さのベルト通し穴に通してください。
- △注意 肩ベルトおよび、アジャストベルトはなれぬれしないよう、肩ベルトハンガーに取付けてください。

肩ベルトの高さが合っていれば 2へお進みください。

#### 肩ベルト高さ調節の仕方



#### 後向き取付け



Check 取付具



#### 前向き取付け



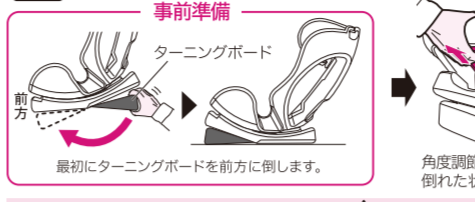
△警告 お子さまの体重が9kgを超えるまでは、前向きで使用しないでください。

Check 取付具

~10kg未満 10kg~

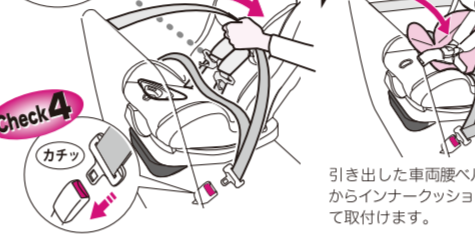
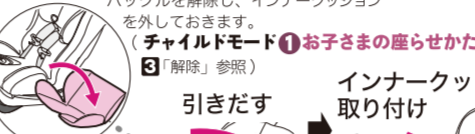
### 2 車への取り付け

#### 1 後向きで車両シートに置く

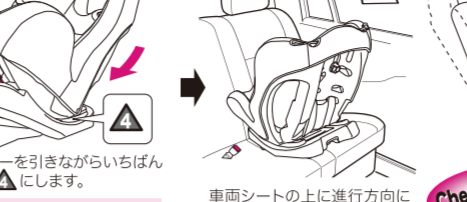


注) ターニングボードが後方にある状態から、△にセットすることはできません。

#### 2 車両シートベルトで固定する

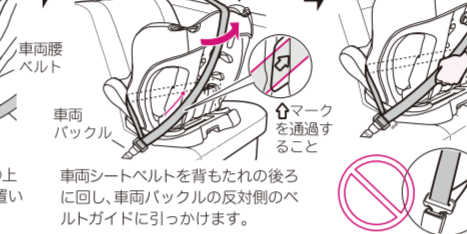
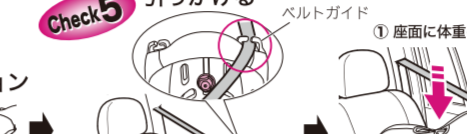


#### 1 後向きで置く



Check 3 接する様に

#### 2 車両シートベルトで固定する



#### 3 ぐらつきチェック



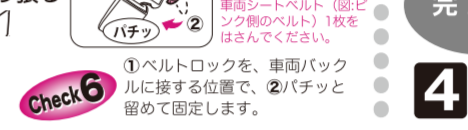
●ぐらつきチェックで、腰ベルト付近のベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつく場合はもう一度取り付け手順の1~2の順序で、取り付けをやり直してください。(4.取付可能な車両シートベルト参照)

△警告 ●車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかりと固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。

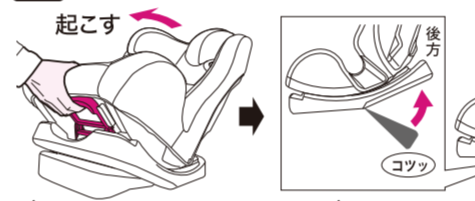
※不明な点は当社のお客様相談室へお問い合わせください。



#### 4 お子さまを座らせる



#### 1 前向きで車両シートに置く



△以外になる様に、角度調節レバーを引きながら起こしておきます。

△以外になっていることを確認したらターニングボードを後方に倒します。

注) △の状態、ターニングボードが後方にある場合は角度調節レバーの操作ができません。

#### 2 車両シートベルトで固定する



#### 1 前向きで置く



Check 3 接する様に

車両座席の背もたれ角度に合わせて接する様に、リクライニング調整します。

車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。

#### 2 車両シートベルトで固定する



#### 3 ぐらつきチェック



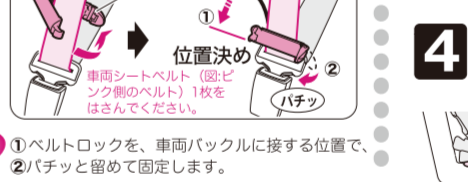
●ぐらつきチェックで、腰ベルト付近のベース部を前後左右にゆすり、約3cm以上ぐらつく場合はもう一度取り付け手順の1~2の順序で、取り付けをやり直してください。(4.取付可能な車両シートベルト参照)

△警告 ●車両バックルがチャイルドシート本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかりと固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。

※不明な点は当社のお客様相談室へお問い合わせください。



#### 4 お子さまを座らせる

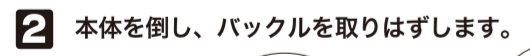


## ハイバックモード

### 1 車に取り付ける前に

#### ハイバックモードへの変更

チャイルドモードからハイバックモードに変更する場合。



(8.お手入れの仕方「シートカバーの取り付け方」参照)

#### 5 ベルトロックを取り付けて完了



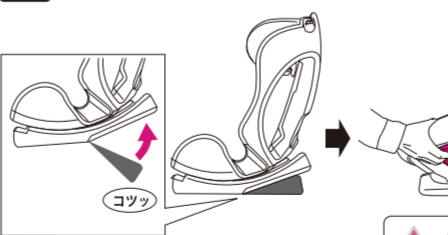
#### 前向き取付け



Check 取付具

### 2 車への取り付け

#### 1 前向きで車両シートに置く



車両シートの上に進行方向に対して前向きで置きます。

#### 2 車両シートベルトで固定する



#### 1 前向きで置く



Check 1 接する様に

車両座席の背もたれ角度に合わせて接する様に、リクライニング調整します。車両ヘッドレストが干渉する場合は上げるか、取りはずしてください。



#### 3 お子さまを座らせる



お子さまを着座させ、車両シートベルトをバックルに確実にロックします。

△警告 車両シートベルト(腰側)は腰骨のできるだけ低い位置にかかると、事故時のダメージを軽減する機能が発揮できなくなるおそれがあります。

△注意 このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れないようにしてください。



●本体が、車両座席の背もたれに密着していること。

●お子さまが本体に深く腰掛けていること。

●車両シートベルトの肩ベルトがヘッドレスト下部のベルトガイドを通り、お子さまの肩にしっかりと掛かっていること。

●車両シートベルトに縋みやねじれがなく、お子さまに当たっていないこと。

●バックルが確実に接続されていること。

#### 4 ベルトガイド高さ調節



△警告 ●ベルトガイドの不適切な高さでの使用は危険です。必ずお子さまの成長に合わせた高さで調節してください。

△注意 このとき、お子さまの腰や背中が背もたれから離れないようにしてください。



Check

●本体が、車両座席の背もたれに密着していること。

●お子さまが本体に深く腰掛けていること。

●車両シートベルトの肩ベルトがヘッドレスト下部のベルトガイドを通り、お子さまの肩にしっかりと掛かっていること。

●車両シートベルトに縋みやねじれがなく、お子さまに当たっていないこと。

●バックルが確実に接続されていること。